## (Λ\$BEE<sup>®</sup>-建築(新築) ▮評価結果

021年SDGs対応版|使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

電力、ガス、水道など、いずれかの消費量の表示機能の

ある機器を採用している。

- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率) ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。

「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易

光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半

■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される